

「暮色」1983年

魂の原風景を描く  
野村義照日本画展

館蔵作品とその周辺

2009年8月29日<sup>土</sup> - 10月3日<sup>土</sup>

開館時間 9:00~18:00 会期中無休  
※閉館時間の30分前までにご入館ください。

会場 北澤美術館 本館 2階展示室

入館料 大人1,000円 団体(8名様以上)900円  
中学生以下 無料

主催/財団法人 北澤美術館  
特別共催/信濃毎日新聞社 共催/長野日报社  
後援/諏訪地方市町村教育委員会協議会 市民新聞グループ  
信越放送 長野放送 テレビ信州 長野朝日放送  
エルシーブイ株式会社 諏訪湖温泉旅館組合  
協賛/株式会社 **キッツ**

# 魂の原風景を描く 野村義照日本画展

— 館蔵作品とその周辺

野村義照画伯は1945年大阪府に生まれ、東京藝術大学日本画科を卒業後、同大学大学院古典研究科に進んで研鑽を積みました。院展を中心に出品を重ねる一方、文化財保存修復事業に携わるなど、多様な経験を重ね豊かな画業を生み出しました。1977年より作品のテーマを求めてギリシャ、イタリア、フランスなどのヨーロッパ諸国へ精力的に赴き、国内外で作品を発表して、国際的な活躍を展開してきました。

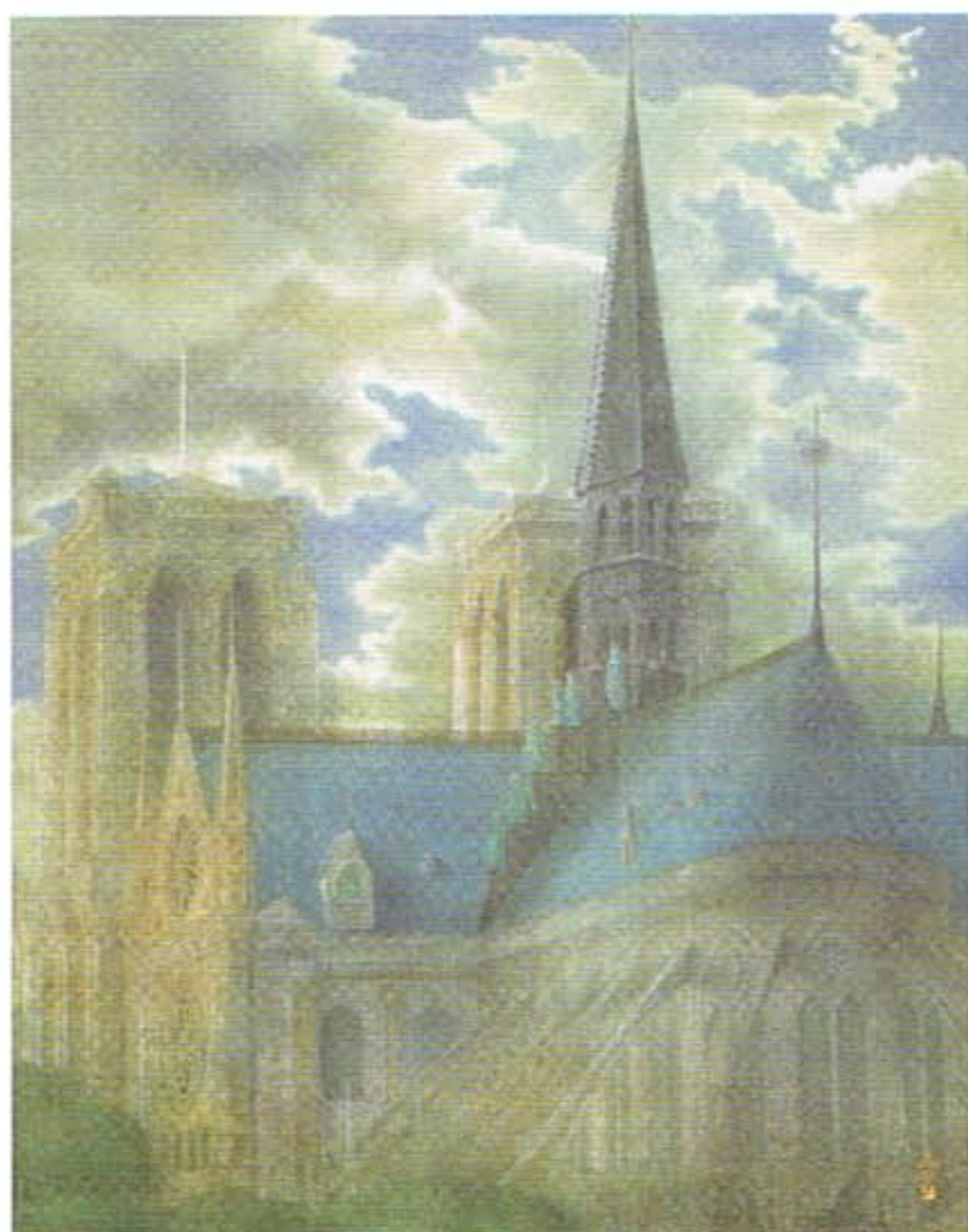
野村画伯の作品にはヨーロッパの遺跡や聖堂が数多く登場します。荘厳な古代ギリシャ神殿、ゴシックの尖塔、教会のレリーフなど、西欧精神世界の証しともいえる石造建築をとらえた重厚な画面。そこには魂の根源を成す領域に分け入って、人間の有り様を再確認しようとする画家の意識が投影されています。深く沈潜する時を包み込む群青色に彩られた作品は、現代日本画壇においてひととき異彩を放っています。

日本の風景と人物から始まり、ヨーロッパ世界を遍歴してきた画題は、近年、再び原点である東洋へと回帰しつつあります。本展では、畢生の名作「暮色」をはじめ、初期作品から近作まで、洋の東西を超えて様々な時空間を描いてきた画業の歩みを紹介いたします。

## ■ 野村義照画伯による作品解説

日時：8月29日(土) 10:30～ ※オープニングセレモニー終了後  
9月12日(土) 14:00～

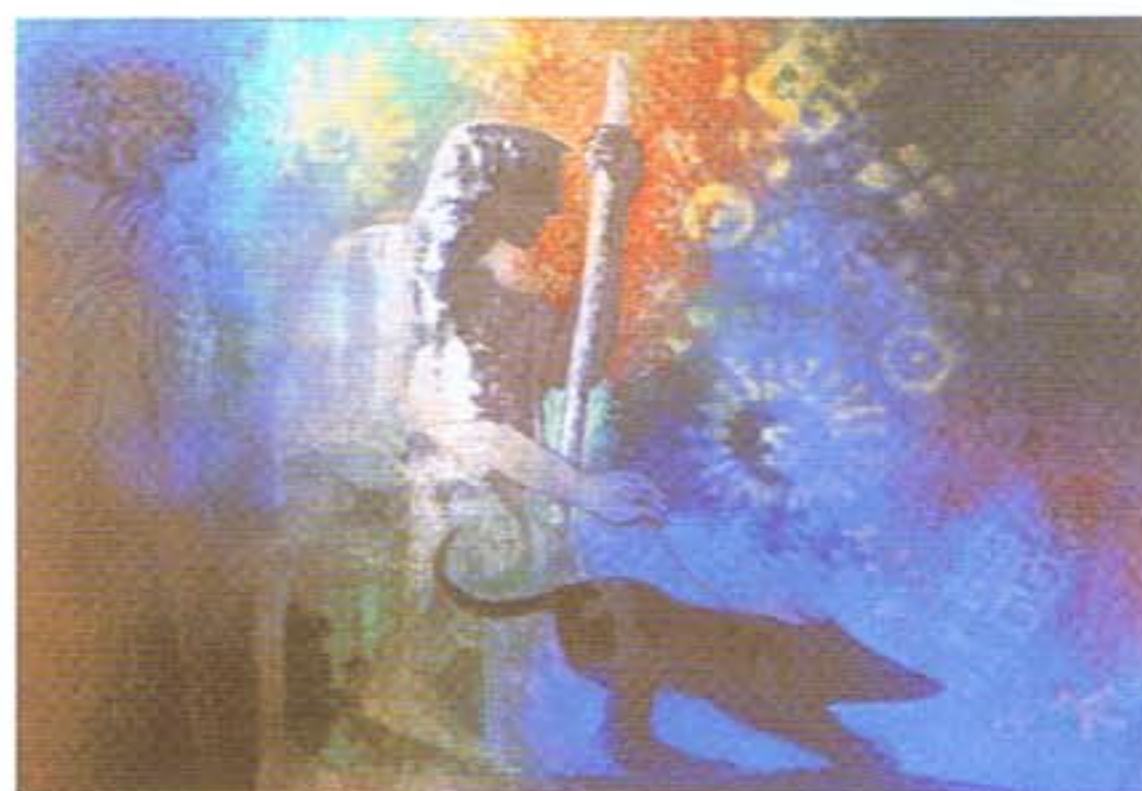
会場：展覧会会場



「聖堂」1994年



「空」2001年



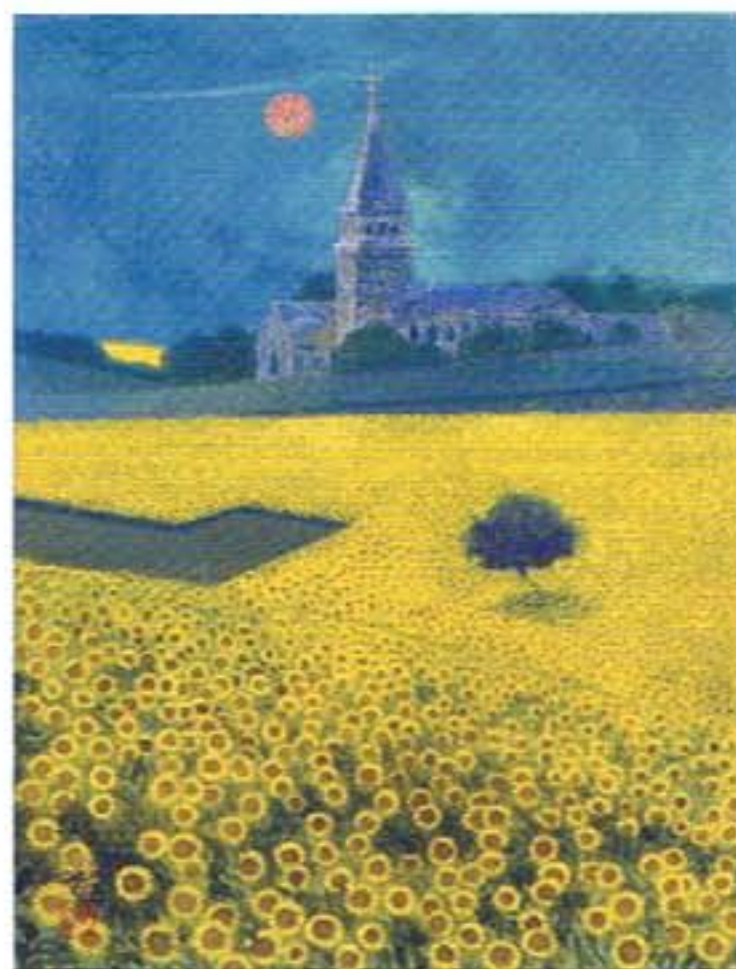
「コリントスの午後(犬)」2008年



「コリントスの午後(猫)」2008年



「ベネツィアの塔」1988年



「ひまわり」1996年



● 北澤美術館 本館  
中央自動車道新府ICより15分  
JR中央本線 上郷駅よりタクシーで5分、新館まで車で10分